

芦田川横断水泳大会を開催しました

芦田川を肌で感じました



看板提供:ソープライ株式会社

「スタートの原因は様々ありますが、市民の生活排水も原因の一つであり、水質浄化に向けて私達にできる事は何かを市民全体で考えるきっかけにしよう」と声をかけてまわりました。

9月5日、当日の参加者13名、マスコミも多数取材に訪れ、中でも毎日新聞の若手記者は自ら泳ぎ「体験取材」を行いました。透明度は約1m、伸ばした手の先がやっと見える程度でしたが、匂いや嫌な感触も無く、濁っていることを除けば極めて快適に泳げました。対岸まで約450m、芦田川の広さを体全体で感じたことができたし、参加者の感想としては「思ったほど汚くなかった」「楽しかった」という感想でした。国土交通省福山事務所の方も見学に来られ、来年は官民協力してより楽しいイベントにしましょうと盛り上がりました。

参加者の感想

「スタートの原因は様々ありますが、市民の生活排水も原因の一つであり、水質浄化に向けて私達にできる事は何かを市民全体で考えるきっかけにしよう」と声をかけてまわりました。

車の世界遺産訴訟の判決について

車の住民が広島県を相手取り、知事が埋め立て免許を県と福山市に交付しないよう求めた「差し止め訴訟」の判決ですが、10月1日に広島地裁は「車の景観は文化的、歴史的価値があり、国民の財産というべき公益で、事業が及ぼす影響は重大。埋め立て架橋計画は合理性を欠いている」として、免許の差し止めを命じました。しかし、この判決で車のまちづくりの問題が解決するわけではなく、新たなスタートと言えます。まず、長年にわたる「橋」(ES・NO)の議論から生じた住民間の軋轢を解消し、住民一体となつてのまちづくりの議論が必要で、私も「着物日和in車」等のイベント開催を通じて、車の住民や観光客の融和に努めています。



第3回 着物日和in車にて

代表質問に答えぬ市長!

明政会代表質問

今議会では私が代表質問を行い様々な提案をしました。例として「公用車に電動アシスト自転車を導入してはどうか」に対する市長答弁は「考えておりませんが」のわずかに「行でした。代表質問とは明政会所属12名の議員を代表しての質問であり、各議員の得票数合計を考えれば何万人という市民の声とも言えます。最初の質問は議員が質問書を読み上げ、対して市長が答弁書を読み上げますが、これは県議会でも国会でも同じです。続いて再質問が可能ですが、市長答弁を聞いて即座にノー原稿で行わなければなりません。市長答弁をさらに掘り下げるために、私は再質問において羽田市長の政治姿勢に関わる質問を何度も行

電動アシスト自転車の導入について

代表質問後の予算委員会にて導入しない理由を質しました。担当課によれば、電動アシスト自転車は高価であり、1回の充電で20~60kmしか走れず毎日充電しなくてはならないし、バッテリーの繰り返し充電により劣化等のデメリットばかり強調されました。もしその通りだったら電動ア



皆さんこんにちは、大田ゆうすけです。市議会最大会派「明政会」に所属し、9月議会は代表質問も行いました。福山市立大学の冷暖房設備工事の契約議決は、明政会は反対を表明し再入札を求めました。採決の結果23対19の反対多数で、市議会の本会議において21年ぶりに市長提案が否決され、まさに歴史的な出来事でした。今後とも是々非々の立場で議会としてのチェック機能を発揮していきます。

福山市立大学の冷暖房設備工事契約を否決

10月15日の中国新聞で「事前に不自然な動き」と報道された、市立大学の冷暖房換気設備工事の入札は、予定価格は6億1800万円、3つのJV(共同企業体)が参加する見込みでした。しかし、ある業者が2つのJVに参加していたことが直前に発覚し、市は要綱に基づき2JVの参加資格を無効にしたため、残る1JVが「無競争」で5億8500万円(落札率94.6%)で落札していったのです。

総務委員会で岡崎副市長より「この入札を無効にして損害賠償を請求された場合、法的に対抗することは困難」という説明がありましたが、議会で議決されて初めて契約が成立するわけであり、議会で議決する前に入札をやり直して損害賠償が生ずるはずがないのです。しかも同じ業者が2つのJVに参加するといったような「単純ミス」は考えられません。



違法公金支出金返還請求事件でオンブズマン敗訴

福山市が職員労組役員に職務専念義務を免除しながら給与を支払ったのは「ヤミ専従」であるとして、福山市民オンブズマン会議が羽田市長に労組役員8人の給与5400万円を市に返還させるよう求めた訴訟の判決が7月28日、広島地裁でありました。判決文には裁判長の「市民の疑念が生じること否定できない」とのコメントもありましたが、原告敗訴の判決でした。「職務専念義務」を免除するという事は一般的には、労働組合の「専従」になることを意味し、以後、給与は組合から支払われることとなります。しかし、被告は組合事務所(一)で「自治体改革推進委員会」等の3委員会を組織して公務に従事していたと主張され、それを裁判所が認めてしまったのです。

『107+1 天国はつくるもの part2』
上映初日
11月1日(日) 13時~ てんつくマン・インターネット生中継
14時 上映開始
11月2日~6日 ①10時~ ②19時~
■シネフク大黒座 ■前売り1000円、当日1200円
■問い合わせ:084-924-1820

お知らせ①
あの、てんつくマン(軌保博光さん)の『107+1 天国はつくるもの part2』が11月1日に全国一斉公開されます。この映画は基本的に自主上映でして、11月1日には全国で130ヶ所上映会が開催されることとなり、各地で様々な盛り上がりを見せています。
福山では(株)フューレックの協力により、シネフク大黒座(笠岡町3-9)で11月6日までの6日間上映します。命の大切さを実感でき、人間の持つ可能性は無限であることを知る事ができます。そして、絶対に人にすすめるべき、素晴らしい映画です。ぜひご覧下さい。

編集後記
車の判決は、全国の注目を集めました。かくいう我が家も「癒し」と「利便性」の度合いで静かなる闘争が続いています。どこかで平行線を交わらせたいと、お互いの主張と受容のバランスに苦勞しています。車も平行線が続きそうで残念ですね。(K子)
ホームページ <http://www.kkochan.com/>
メール orion@urban.ne.jp(PC)
mt.kumagamine438@docomo.ne.jp(携帯)

お知らせ②
来年の大田ゆうすけ新年会は「市政報告会」へ衣替えします。
3月13日(土) 14時~
「県民文化センターふくやま」
参加費 無料
多数ご参加下さい。

芦田圃場整備 虚偽書類作成 福山市議会委が現地調査

福山市芦田町の圃場整備事業をめぐる市職員2人が虚偽公文書作成、同行使の疑いで書類送検された問題で、市議会文教経済委員会(瀬良和彦委員長)が八日、現地を調査した。瀬良委員長ら十人が土壁上、山の小川雅朗経済部長たちから圃場整備事業での市の役割や事務手続状況、虚偽の書類を作った経緯などを聞いた。

圃場整備の対象地と「地番整理のために虚偽書類を作った」圃場事業を活用するのはおかしい。市の説明だけでは不十分だ」という声も出た。

(与倉康広)



農地として今も利用されていない土壁上地区の土地で市職員(手前左)から説明を受ける委員

平成21年5月9日(土曜日) 中国新聞掲載

※圃場整備
段々畑を1枚の広い農地へ改良し、大型機械等で効率よく農業ができるよう整備すること

3月13日に市職員2名が書類送検されましたが、市職員が虚偽の公文書を作成した理由は何でしょうか?このような手間隙と費用をかけた圃場整備にもかかわらず、完成後、数年で一部に「耕作放棄」の状態が発生した理由は何でしょうか?

6月議会でも市長は、「適正な事業執行がなされているかをチェックし検討する」区画整理(圃場)事業調整協議会を設置し、今後は適正な事業推進が行われるよう努める。芦田町においては遅れている道路整備の課題や農業生産基盤整備の要望に対して、圃場整備事業と市道整備を併せて行うことについて、土地改良法上も何ら問題は無い。なお、圃場整備の目的を地権者に対して十分に説明できていなかったことにより耕作放棄が発生した」と答弁されました。優良農地を作ることが目的の圃場整備を行いつつ、「しっかりと耕作していただきたい」と説明してなかったとは、なんとも矛盾していると思われませんか?また、動機についても明確な答弁はなされませんでした。

レイテ島・タクロバン市

福山市とフィリピンのレイテ島・タクロバン市は、29年前に親善友好都市提携を結んでいます。しかし、最近ほとんど交流がありません。この提携の背景には「福山歩兵41連隊」の存在抜きには語れませんが、41連隊の歴史も風化が著しいと感じています。

その理由は、レイテ島で全滅したため当時の戦闘記録が残っていないこと、生き残った方も少なく語り部がいらないこと、キーマンであった写真家の土肥さんが亡くなったことなどが原因のようです。しかし、福山市の戦後の復興と発展は41連隊の戦いと犠牲の上にあり、決して風化させてはならないと感じています。これは政治の責任でもあるのではないのでしょうか。11月中旬にはタクロバン市を訪問予定です。



41連隊の記念碑とともに

ハワイ州・マウイ郡

福山市・マウイ親善訪問団の二員として市内高校生13名とともにマウイ島を訪問しました。郡議会への訪問や、マウイ・カウンティ

イケアへの参加を通じて交流を深め、双方の持つ文化や歴史の交換による双方のまちの発展を目指したいと感じました。また、マウイの持つ素晴らしい自然と、それを守る取り組みについて学ぶことができ有意義であったと思います。

なぜならマウイの最大の産業は「観光」です。美しい海に囲まれているので、サーフィンやシーカヤック、ゴルフに乗馬や自転車等、あらゆるアウトドアアクティビティを体験することが出来ます。産業の発展のためにも自然保護は重要な課題であり、風力発電などの自然エネルギーも積極的に取り入れていました。また、マウイの選挙事情ですが、多選防止として郡長は8年、郡議会議員は10年までと決めているそうです。

日本でも議員定数の削減より、多選の制限の方が有意義かもしれないと感じました。



マウイ郡のタヴァレス郡長と

韓国・浦項市

福山山岳会90周年記念行事として韓国の雪嶽山(ソラクサン)山行に参加しましたが、地元・浦項山岳会のサポートにより紅葉の山を満喫することができました。今年も浦項市と福山市の友好都市提携30周年でもあり、浦項市役所を表敬訪問して山岳会同士による交流の継続を報告することができました。

活動報告

研究テーマが決定

2年目を迎えた広島大学大学院・社会科学部研究科マネジメント専攻の修士論文テーマですが、「芦田川河口堰に関する政策研究— 諫早湾干拓事業・長良川河口堰と比較して—」に決定しました。

完成後も激しい堰開放への運動が展開されている諫早湾干拓事業と長良川河口堰の事例を分析し、芦田川を中心に3者における政策決定の経緯や利害関係者の動きを比較検討することにより、芦田川河口堰開放に向けたヒントを見出したいと考えています。

芦田川河口堰にて



諫早湾河口堰にて



長良川河口堰にて

大田祥子旗中学生野球大会

この大会は、母・大田祥子の「子供達の心身の健全な成長はスポーツに拠る」という理念を後世に伝えるべく開催している野球大会であり、節目となる5回目を迎えることができました。開会式は福山市民球場を舞台として、城南中学校のブラスバンドの演奏をバックに17チーム約300人の選手が堂々の入場行進を行い、素晴らしい大会に成長しつつあります。優勝は福岡南、準優勝は岡山、3位が我が福山リトルシニアという結果であり、今後は第10回大会を目標に更に盛り上げていきたいと考えています。協賛をいただいた皆様、様々な準備及び大会運営に当たられた福山シニアの保護者の皆様他、多くの方のご協力とご支援により成功裏に終わることができました。本当にありがとうございました。



優勝した福岡南リトルシニアチームと私

山遊びで川遊び

川遊びのポイント「安全性」「道具」です。例えば山遊びの名産「龍頭の滝」の滝壺は、夏でも水温が低く水深の深い滝壺です。しかし、皆様からお寄せいただいた「芦田川浄化基金」で購入したウェットスーツとライフジャケットを身に着ければ、滝の真下に

子供達の「麦刈り」体験

子供達が山町の約1反の畑の麦を鎌で刈り取り、昔懐かしい足踏み脱穀機で脱穀し、唐箕を使って藁やゴミを飛ばし、約250kgの小麦を収穫することができました。さらに小型製粉機で製粉し、フルイで選別させた小麦粉で手打ちうどん作りも行いました。この手打ちうどんは最高に美味しかったです。麦を蒔くところから収穫して食べるまで経験でき、本当に素晴らしい体験ができたと思います。



龍頭の滝にて



3兄弟の子供も参加しました

市町村議会議員特別研修に参加

8月17日から21日まで、滋賀県にある全国市町村国際文化研修所にて開催された特別研修「社会保障基本コース」に参加しました。4泊5日の研修には全国から43人の市町村

緑町公園 リレマランとサンパ

1周1kmの公園内周回コースをチームで42周するというこの大会、すっかり定着した感じがします。第4回大会は36チーム、約400人の選手が参加され、大いに盛り上がりました。速い遅いはありますが、それぞれのチームが力を出し切り、最後の周回はアンカーとチームの選手が全員でゴールするという光景が随所に見られました。私も選手として「緑の浦RUN DE ブー」チームに参加し、アンカーの大役を任せられました。さて、公園に隣接するサンパ福山ですが、所有する整理機構による入札が9月29日に行われ、福山市も参加しました。結果は落札できず、個人的には非常に残念に感じましたが、今後は落札業者の開発計画を見守りたいと考えています。



緑の浦RUN DE ブーのゴール!